



平内町 観光ロードマップ

Hiranai Town
Sight-seeing Road map

発行/平内町商工会・平内町観光協会
お問い合わせ/平内町観光協会
〒039-3321 青森県東津軽郡平内町大字小湊字小湊63
TEL.017-755-2118(直通) 017-755-2111(代表)

平内町について

- 東西20.6k、南北23.2k、総面積217km²
- 平内という名前の由来⇒蝦夷語の「ピラナイ」が語源とされる。「ピラ」は山と山の間、「ナイ」は河川の意で、山と山の間が流れる土地という意味。
- 1889年(明治22年)4月1日→村制施行により、東平内村、中平内村、西平内村がそれぞれ誕生。
- 1928年(昭和3年)10月1日→中平内村を小湊町と改称。
- 1955年(昭和30年)3月31日→小湊町、東平内村、西平内村の1町2村が合併して、平内町が誕生する。

- イベント EVENT
- 洋ランまつり……………夜越山森林公園……………3月上旬
 - 椿とサボテンまつり…夜越山森林公園・椿山……………5月上旬
 - ひらない夏まつり……平内町内……………8月中旬
 - ほたての祭典……………夜越山森林公園……………9月中旬

貸切タクシー料金表

※料金は全て税込みです。(ご予約が必要です。当日可)

小型(4人乗り)	
1時間	4,500円
3時間	13,500円
半日(4時間)	18,000円
1日	35,000円

※平成22年11月現在の料金です。目安としてお考えください。
※22:00~5:00の間は深夜料金(2割増)になります。
注1.距離等により料金に変動があります。
注2.原則として町内観光での貸切に限らせていただきます。(町外へ移動の場合は要相談)

ご用命・お問い合わせは…

◎東洋タクシー/TEL.017-755-2046
◎平内タクシー/TEL.017-755-2339

<観光ガイド>

平内町観光ボランティアガイドのご利用について詳細は、平内町観光協会へお問合せください。
TEL.017-755-2118(直通) 017-755-2111(代表)
ガイド依頼日の直前ですと対応できない場合がありますので、原則として依頼日の2週間前にお申し込みください。

平内町歴史民俗資料館 (旧小湊代官所跡地)



建設場所は、旧代官所跡で考古・歴史・民俗に関する展示を行っている。平内代官所は、安永4年(1775)黒石藩の代官所として建てられる。平内郷はかつては南部領だったが、天正15年(1587)津軽領となり、明歴2年(1656)に津軽信英が平内郷を賜り、黒石領となる。
◎休館日/年末年始、祝祭日、第2・第4日曜日、第2・第4月曜日を除く月曜日

ご家中のマツ



御家中通りにある松の古木。樹齢400年を超えている。平成8年に町の天然記念物に指定されている。

東福寺



開創天正11年。平内町で一番古いお寺である。大資産家・竹内与右衛門、横内城主・堤禪正、津軽三味線奏者・初代高橋竹山、白鳥おじさん・畠山正光等々の墓地がある。

延命地蔵



平内福館城主・七戸修理が汐立川で水死した自分の娘の冥福を祈って東福寺に天正11年に寄進したもの。これについては、「カッパの伝説」が残されている。



交通アクセス

畑井新喜司博士顕彰碑



明治9年に小湊に生まれ、明治32年渡米してシカゴ大で学び、ペンシルベニア大教授を務める。大正10年に帰国し、東北帝大教授となり生物学教室、浅虫臨海実験所を創設。シロネズミに関する研究で14年学士院賞。のち東京家政大学長。昭和38年没。平内町名誉町民第一号「それは君大変おもしろい君ひとつやってみたまえ」青森の風土とアメリカの学問的環境に育まれた国際的生物学者であり、「ミミズ博士」とも呼ばれていた。

高橋竹山の碑



初代高橋竹山(本名高橋定蔵)明治43年6月18日生まれ。平成10年2月6日没。津軽三味線名人位平内町名誉町民第二号。初代高橋竹山の弟子たちが建立した記念碑。生誕100年を契機に2010年6月18日の生誕祭において、現在の位置(勤労青少年ホーム前)に移転した。

小湊駅 周辺案内図



愛宕神社



元禄2年(1689)4月創立。明治初年廃社となり、御身体は一時寺島家で預かっていたが、信者の手で昭和2年に再建され現在に至っている。高橋竹山が生涯崇敬していた神社として知られている。

命跡地



幕末から明治中期にかけての平内の大資産家、竹内与右衛門家跡地。屋号は命(やまいち)。酒、木綿、木炭、材木、金融業を生業とした。明治に入り、山の入り合い権をめぐる葡萄皮事件起こし、長期の裁判の末、敗訴。没落する。

